

令和2年第3回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
1	8番 佐藤葉子  予定日時 9月4日(金) 10:00~10:45	市民の健康と命を 守る取組について	1 コロナ禍における医療・検査体制の確保について	秋以降、風邪やインフルエンザの流行期に入り、発熱患者等の医療機関への受入れが懸念されますが、市内医療機関の受入れ体制について伺います。重症化防止及び社会経済活動継続のために、PCRなどの検査が速やかに実施できるよう、体制の強化が必要です。君津木更津医師会が運営するPCRセンターが設置されたところですが、これまでと比較してどのように体制が拡充されたのか、また民間医療機関との連携状況について伺います。加えて、新型コロナウイルス感染者を受け入れる「重点医療機関」や各病院の入院調整、宿泊療養施設の整備状況を伺います。
			2 がん対策について	日本人死因第1位の悪性新生物(がん)は、診断と治療の進歩により、一部のがんでは予防や早期発見、早期治療が可能となりつつあります。予防することができるがんを含め、3つのがん対策について伺います。  1 胃がん予防のためのピロリ菌検査導入について ピロリ菌と胃がんの因果関係は明らかとなり、2013年2月にピロリ菌除菌が保険適用となって以降、国内の胃がんによる死亡者数は着実に減少しています。胃がん撲滅の観点から本市でのピロリ菌検査導入に対するご見解を伺います。

## 令和2年第3回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
				<p>2 子宮頸がん予防のためのHPVワクチンの周知について 子宮頸がんは、年間約1万人の女性が罹患し、約2,900人の方が亡くなるなど重大な疾患です。子宮頸がんに対する有効な予防策として、ヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチンが2013年4月に定期接種化されましたが、接種後の副反応とされる症状への懸念により、同年6月に厚生労働省が積極的勧奨の差し控えを通達して、7年以上経過しています。本市のHPVワクチンの認識、接種状況を伺います。また、現在も定期接種として継続されていることから、接種対象者及びその保護者に対し、ワクチンの有効性やリスクの情報提供が必要と考えますが、ご見解を伺います。</p> <p>3 前立腺がん早期発見について 前立腺がんは2020年から2024年には男性で最も罹患率が高いがんになると予測されています。前立腺がんは初期段階では自覚症状がほとんどなく、自覚症状が出た段階では、約50%の人が既に骨やリンパ節に転移してしまっていることが多いため、早めに検査を受けることがなにより重要です。男性特有の前立腺がん早期発見のために、採血でのPSA検査を導入すべきと考えますが、ご見解を伺います。</p>

令和2年第3回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
		誰も置き去りにしない包括的支援について	1 生きることを支える自殺対策について	かつては「個人の問題」と認識されがちであった自殺は、広く「社会の問題」と認識されるようになり、2006年に自殺対策基本法が施行され、国を挙げて自殺対策を総合的に推進した結果、着実に成果につながっています。それでもなお、20代、30代における死因のトップが自殺であり、日本の死亡率は主要先進7か国の中で最も高く、依然、楽観視できる状況にありません。本市の自殺率は国や県平均を上回っています。2017年7月に策定された自殺総合対策大綱では、市町村における計画的な対策の推進等が示されています。コロナ禍により社会的閉塞感が広がる今、改めて本市の認識と対策を伺います。
			2 孤立を防ぐ、断らない相談支援について	介護や病気、生活困窮、ひきこもりなど、多様で複雑化した問題を抱え、既存の制度では対応が難しい人や家庭からの支援ニーズが増加しています。相談先が多岐にわたるため、問題ごとに別々の窓口を回っている間に、相談者自身の心が折れ、孤独を深めることさえあるとして、縦割りの対応を見直し、断らない相談支援を中心とした包括的な支援体制の構築が自治体に求められています。本市における複合的な悩みを抱えた方への相談支援の現状及び支援強化について伺います。

## 令和2年第3回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
		自治体におけるSDGsについて	SDGsの視点を踏まえた次期総合計画について	<p>新たな総合計画策定に当たりSDGsをベースにすることは、本市の取組の検証や政策形成に資するものとなり、多様な主体との連携やパートナーシップの進化も期待できます。計画策定に当たりプロポーザルを選定されたところですが、本市として、コロナ後の社会におけるSDGsのあり方に関する検討状況、市職員・企業・市民の理解を深める具体的な取組について伺います。また、多様なステークホルダーと連携した推進が地方創生達成の鍵だと考えますが、本市の連携強化に向けた取組を伺います。さらに、内閣府が設置する「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」は官民のマッチング支援や有益な情報を得られる仕組みであり、本市は加盟すべきと考えますが、ご見解を伺います。</p>

令和2年第3回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
2	6番 石上 墨  予定日時 9月4日(金) 11:00~11:45	防災対策について	1 災害への備えについて	<p>昨年の台風・大雨による災害の経験を踏まえた中で、災害対策本部の運営や情報収集・情報発信についてなど、課題のあった部分への対策とその進捗について伺います。また、装備品の状況と課題についても併せて伺います。昨年のように、市内全域が被災する場合を想定した避難者の受入れについてと、市民に向けて取るべき事前の啓発、支援について伺います。</p>
			2 感染症防止対策について	<p>コロナ禍における避難所の感染症対策について、現在の状況と取り組むべき喫緊の課題について伺います。</p>
		社会的環境整備、 市役所の働き方改 革について	1 テレワークの導入について	<p>緊急事態宣言下において、君津市役所でもテレワークが実施されました。しかし、情報漏えい防止処置として、行政機関専用のコンピューターネットワークはインターネットから切り離されている関係で、通常業務をテレワークとして自宅できないことが大半であり、非効率的な状況であったと捉えています。そのような状況を踏まえ、総務省は、今年5月に検討会からの提言を受け、現在、自治体のネットワークとインターネットを接続できるようにすることなど見直しを進めています。また、8月には自治体職員がテレワークを行う際の情報セキュリティ対策を総務省がまとめ、都道府県ほかに通知しています。新型コロナウイルス感染症拡大の第2波・第3波により再びテレワークとなった場合に備え、これまで以上に業務効率を上げる対応を取っておくべきではないかと考えますが、見解を伺います。</p>
			2 ICTの推進について	<p>昨年の台風、今年新型コロナウイルス感染症と予期せぬ対応や業務の増大を今後想定すると、庁内でICTを積極的に導入し、業務効率と生産性の向上を図っておくべきと考えますが、現状を伺います。</p>

## 令和2年第3回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
			3 女性の活躍について	政府主導のもと、指導的地位に占める女性の割合を2020年までに30%程度に上昇させる取組を2003年6月に男女共同参画推進本部で決定しました。その後、2015年に30%は努力義務に格下げされたものの、目標は堅持され、可能な限り早期に実現するよう、第5次男女共同参画基本計画にも盛り込まれる見込みです。想定される職種に地方自治体は入っていませんが、子育て世代の流出が止まらない本市において、市役所自らが、男女関係なく魅力的な職場となるよう取組を進めて、女性も管理職を目指せる環境になっていくべきと考えますが、現状を伺います。
		保育環境整備について	君津市保育環境整備計画（素案）について	5月に君津市保育環境整備計画（素案）が示され、意見公募が実施されましたが、地域や保護者への説明会はいつ頃行う予定であるのか伺います。
		学校教育について	GIGAスクールの推進について	新型コロナウイルス感染症が地方へ広がり、自治体独自で緊急事態宣言を発令している状況の中、千葉県でも同様の状況となり、学校が臨時休業になった場合の備えとして1人1台端末の導入が早期に実現することが望ましいですが、進ちょく状況を伺います。

令和2年第3回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
		コロナ禍における 支援策について	ひとり親家庭の生活支援策について	ひとり親家庭、とりわけ母子家庭における収入は、一般家庭より低い水準であることが調査により明らかとなっています。新型コロナウイルス感染症の影響により、仕事が減り、収入が激減している家庭では、給食費や教材費などの支払いに大きな負担を感じている状況にあります。このような家庭に対しての支援策が教育の機会均等に有効であると考えますが、見解を伺います。
		公共交通について	コミュニティバスについて	コミュニティバスは平成17年より地域の足として運行が開始されていますが、通勤・通学を除くと利用率が低調で、市民の思いとかけ離れた実態となってきています。交通空白地域を含め、運用見直しに期待するところですが、今後の方向性について伺います。
		財政運営について	予算執行と来年度予算について	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う事業見直し等により、予算執行が見送られているものもあると推察しますが、想定している予算措置について伺います。また、今後の予測ができないうえ、次年度以降の市税収入の減少が見込まれる中、来年度の予算編成について、現在考え得る状況について伺います。

## 令和2年第3回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
3	19番 小倉靖幸  予定日時 9月4日(金) 13:00~13:45	新たな総合計画について	1 策定の取組状況について	本市では、令和4年度からスタートする新たな総合計画の策定に着手しておりますが、策定を進めていく過程では、新型コロナウイルス収束後の社会経済や人々の行動変容を捉えた、中長期的な展望を描いていく必要があるものと認識しております。今後、コロナ禍における市民との対話なども含め、どのような計画づくりに取り組んでいくのか、これまでの進捗状況と併せて伺います。
			2 国土強靱化地域計画について	<p>昨年の房総半島台風をはじめとする一連の大規模自然災害を踏まえ、本市では、事前防災、減災に資する強くしなやかな国土を構築するため、国土強靱化基本法に基づき、強靱化地域計画の策定を進めておりますが、今後策定する総合計画との関係性やこれまでの取組状況、計画の柱になるものについて伺います。</p> <p>併せて、当初想定していなかった新型コロナウイルス感染症という社会の大きな変化に対し、どのような影響があるのか、あるいは無いのか伺います。</p>
			3 土地利用の方針の考え方について	君津インターチェンジ周辺の土地利用の方針については、現在策定中の君津市総合計画においても検討されると伺っております。毎回、議会のたびにこの問題を取り上げ、強く訴えてまいりましたが、君津インターチェンジ周辺の土地利用については、周辺地域を含めてあらゆる方向から検討をいただいているものと認識しております。また、土地利用を現実のものとするためには、君津市総合計画の見直しに伴い、君津市都市計画マスタープランの見直しも同時に必要となってくるものと思われませんが、今後の取組について伺います。併せて、当初想定していなかった新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、計画策定に影響があるのか伺います。



令和2年第3回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
		真に災害に強いまちづくりについて	1 地域防災計画の見直しの取組状況について	<p>令和元年房総半島台風等の一連の風水害では、停電や断水、倒木、家屋被害などの被害に、全職員が総力を挙げて対応したということは理解しております。私は、かつて経験のない災害に対し、全力で対処した全職員に対し、敬意と感謝を改めて申し上げます。このような中で、新しい課題も生じたことから、市議会において、防災対策基本条例等調査特別委員会を設置し、いくつかの提言がなされました。</p> <p>これらを踏まえ、防災対策の根幹となる地域防災計画の見直しについて、進ちよく状況をお伺いします。</p>
			2 コロナ禍における避難行動について	<p>新型コロナウイルス感染症の感染が続いている状況ですが、自然災害はいつ発生するか分からない状況です。長かった梅雨、異常な高温となった夏が過ぎ、本格的な台風シーズンが訪れようとしています。災害が発生し、避難する必要がある方は、速やかに行動をとらなければなりません。申すまでもなく、新型コロナウイルス感染症を踏まえた適切な避難行動が必要であります。市の考えをお伺いします。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を踏まえ、各家庭での備蓄品に新たに加える物があるのか、また、災害に備え、どのような点に心がけておく必要があるのか、併せてお伺いします。</p>

## 令和2年第3回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
			3 避難所運営について	令和元年房総半島台風等の一連の風水害時には、市の避難所担当者が施設管理者等の協力を仰ぎながら避難所の開設、その後の運営を行ったと思いますが、市職員と施設管理者は、その後の復旧復興に向けた対応もしなければならぬ状況になると認識しています。そこで、避難所の運営については、行政だけで行うのではなく、自治会や自主防災会と連携して運営できる体制が必要でないかと考えますが、見解を伺います。併せて、新型コロナウイルス感染症の感染が続く中、これからの避難所運営体制についてどのように考えているのか伺います。
		教育・子育て環境について	1 教育のデジタル化について	新型コロナウイルス感染者数が緊急事態宣言時より増加しているため、再び臨時休業の措置をとらなければならない恐れがあります。そこで、こうしたコロナ禍において、どのように本市の教育を進めていくのか、新教育長の抱負を伺います。また、学校が再度臨時休業を実施せざるを得なくなった時に備え、教育のデジタル化やICTの環境整備を一層進めていかななくてはならないと認識されていることと思います。今後、オンライン授業等への対応なども含め、子どもたちの学びを保障するためにどのような将来像を持っているのでしょうか。一方で、教職員の負担が増えることのないように、どのような支援を行っていくのかを伺います。

令和2年第3回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
			2 (仮称) 貞元保育園整備について	<p>先般、君津市保育環境整備計画（素案）において、（仮称）貞元保育園の整備の方針が示されましたが、整備に向けた取組状況について伺います。また、君津市保育環境整備計画において基幹保育園として位置づける（仮称）貞元保育園にどのような機能の導入を検討されているのか見解を伺います。</p>
		コロナ禍における 経済対策について	市内経済の好循環に向けた取組について	<p>新型コロナウイルスの感染拡大により、4月には緊急事態宣言が発令され、このことは本市においても飲食店をはじめとした様々な業態に大きな影響を及ぼし、市内経済はこれまでにないほど疲弊しております。国は消費喚起策として、7月から「Go To トラベル」をスタートさせましたが、昨今の感染者数の増加等の影響を受け、利用者数が伸び悩んでおり、経済活動の回復は当面難しい状況が続くことが想定されています。コロナ禍においても今後の市内経済の回復に向けた支援は積極的に行うべきであり、これからの新たな生活様式に合わせた対策は、市内経済の回復において非常に重要な取組であると考えております。今後、事業者が感染防止対策を徹底することにより、市民が安心して生活できる仕組みづくりや、観光客にも安心して訪れていただける対応策など、市内経済が回復し、好循環するような取組を市として支援する必要があると考えますが、市の見解をお伺いします。</p>

## 令和2年第3回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
4	5番 高橋健治  予定日時 9月4日(金) 14:00~14:45	市民に寄り添う行政サービスについて	1 おくやみ窓口等の設置について	近年、「おくやみ窓口」や「おくやみコーナー」など、死亡・相続の手続きに対する行政のワンストップサービスを導入している市町村が増え、市民ニーズは高まっていると考えます。内閣府が死亡・相続ワンストップサービスを推進し、導入に向けたガイドラインや設置自治体支援ナビを提供していますが、本市での導入について見解を伺います。
			2 小櫃診療所の状況について	4月から、小櫃診療所は指定管理者制度を導入し、運営が開始されました。それに伴い、平日の日中は診療を受けることができるようになり、地元住民に非常に喜ばれています。開設されてまだ日も浅いですが、現在の利用状況について伺います。また、診療所と行政との連携について伺います。
		安心できる災害対策について	1 トイレトレーラーの導入について	今年度導入が決まったトイレトレーラーは、災害時に有用であると思われませんが、導入時期はいつ頃か伺います。また、資金の一部を調達する手段として、クラウドファンディングを活用することとしていますが、コロナ禍で全国的に経済状況がひっ迫している中、資金を集めることに対してのお考えを伺います。さらに、災害時の利用はもとより、平時の活用方法について、見解を伺います。
			2 レスキューホテルの活用について	災害時には安全な避難所の確保はもちろんのこと、緊急避難的な住居の確保も必要不可欠です。県営、市営住宅の空き部屋、協定を結んでいる宿泊施設、企業等の空き住宅だけでは、大規模災害時には絶対数の確保の面で不十分だと考えます。今後は、感染症対策等も併せて考えていかなければならない状況の中で、コンテナを利用した移動式住居は有効と思われれます。千葉県内でもコンテナを利用したレスキューホテルとの災害協定を結ぶ動きが増えてきていますが、本市の見解を伺います。

令和2年第3回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
			3 避難所における感染症に係る対応について	災害時、避難所に避難される方々は精神的にも肉体的にも非常に大変な思いをされています。その様な状況下で、新型コロナウイルス感染症の感染者かどうか識別対応はできるのか、その方法について伺います。また、感染の疑いがある方が避難して来た場合など、緊急時の各避難所における職員の配置を含めた対応策について伺います。
		地場産業の発展について	1 農業分野の今後について	農業は本市の基幹産業の一つであり、今後もさらなる発展を目指すところではありますが、課題も多くあげられます。その一つに、農業従事者の高齢化、後継者不足があります。現在、市では県による農地中間管理事業の窓口業務を行っており、農地集積、集約化、新規参入を進めることは、課題解決の一つの有効な手段になり得ると考えますが、農業従事者への周知は図られているのか伺います。個人的に農地の貸し借りをされている方がほとんどだという話を聞きますが、現状と今後の取組について伺います。
			2 鳥獣被害の状況について	本市では、君津市鳥獣被害防止計画に基づき、対象鳥獣の捕獲等を実施していますが、いまだに被害軽減の兆しが見えない状況であり、あまりの被害の多さに農作物の生産をやめてしまう農業従事者の方もいます。全ての鳥獣被害をなくすのは困難ですが、少しでも、前よりは良くなったといえるような状況に改善していくことが労働意欲の向上にも繋がると考えます。現在の被害状況と今後の対策について伺います。

## 令和2年第3回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
			3 観光業の活性化について	今般の新型コロナウイルスによる経済的打撃を最も受けた業種の一つに観光業があります。少しずつではありますが、観光施設が再開され、他県ナンバーの車も多く見受けられるようになってきました。しかしながら、新型コロナウイルス収束の出口が見えない中、きみつ秋花火、久留里城祭りの中止が決定するなど、引き続き、観光業を取り巻く現状は厳しいものと考えます。今後の支援策等について伺います。

令和2年第3回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
5	18番 三浦道雄  予定日時 9月7日(月) 10:00~10:45	新型コロナウイルス感染症対策について	1 新型コロナウイルス感染症の収束について	新型コロナウイルス感染症は、収束どころか、増加の一途をたどっています。これまで感染者がいなかった富津市でも感染者が発生するなど市民の不安感は募るばかりです。収束に向けた市の対策について伺います。
			2 PCR等検査の抜本的拡充について	PCR等検査の抜本的拡充について、日本共産党の志位委員長は7月28日に安倍首相に緊急申入れを行い、感染震源地の徹底調査などを緊急に求めました。その後、前向きの流れが起きているようですが、本市のPCR等の検査体制はあるのか伺います。
			3 医療機関等の減収補てんについて	新型コロナウイルス感染症患者の入院を受け入れた病院などは、大幅な赤字が続いており、感染症患者を受け入れていない病院でも対前年比で経営状況が悪化しているとのことです。君津木更津医師会の医療機関の経営状況について伺います。
			4 コロナ禍でも強行されたオスプレイ配備について	7月10日に、ついに1機目のオスプレイが木更津駐屯地に強行配備され、その後、2機目も配備されました。このことへの認識と今後の市の対応を伺います。

## 令和2年第3回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
		福祉・医療行政について	1 高い国民健康保険税の引下げについて	協会けんぽの健康保険料と比較して2倍近くも高い国民健康保険税は、国保加入者の生活を圧迫しています。せめて協会けんぽ程度の保険料にできないのか、全国知事会は、国に対し1兆円の公費負担増を求めています。国保税引下げについての見解を伺います。
			2 介護保険制度の矛盾について	介護を受ける方、家族介護等介助者の負担軽減を図るとともに、社会全体で支えるため、鳴り物入りで制度が施行されて今年で20年目になります。ところが今では、もっぱら自助・共助が中心となり、介護サービスが後退しています。「保険あって介護なし」といわれるゆえんはここにあります。設立当初からの理念からすれば矛盾していると考えますが、見解を伺います。
		教育行政について	少人数学級について	児童、生徒の減少を理由に本市は小中学校の統廃合計画を進めています。コロナ禍で少人数学級に光が当たり、有識者、学校関係者、全国知事会等からも少人数学級は急務との声まで上がっています。見解をお聞きします。
		環境行政について	新井総合施設株式会社の動向について	1日あたりの産業廃棄物等の運搬をするダンプカーの種目別台数を伺います。



令和2年第3回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
6	9番 野上慎治  予定日時 9月7日(月) 11:00~11:45	君津の未来を拓く 働き方改革について	1 君津版ハローワークの進ちょく状況について	コロナ禍による解雇が、全国で4万人との新聞報道がありました。本市においても失業した方が増えています。このような時に、君津版ハローワークが開設されることは、市民にとって朗報です。生活自立支援センターきみつと連携した就労支援を期待するものですが、具体的な業務内容や開設時期について伺います。特に、市内求人掘り起こし方法や求職者とのマッチング方法について伺います。
			2 テレワークの推進について	コロナ禍や自然災害が頻発する中、テレワークの有用性が見直されています。また、子育てしやすい働き方として注目されています。市においても、職員の働き方改革の一環として積極的に取り入れていただきたいと考えますが、見解を伺います。
			3 行政センターの活性化について	広い市域を有する本市においては、各地域の特性を生かして、各地域を活性化していくことが重要です。そのためには、それぞれの地域の課題を地域で共有し、地域力で乗り越えていくことが大切であり、地域の人材を結集し、知恵を出し合う仕組みが必要です。各行政センターをまちづくりの中核として位置づけ、機能を拡大することが有効であると考えますが、見解を伺います。
		子どもたちが育つ 教育の推進について	1 オンラインによる不登校対策について	オンライン学習を実施した地域では、不登校だった子どもたちが学習に参加できたとの報道がありました。教室に行かず自宅からであれば、学習に参加できる子どもたちがいるということです。オンラインを活用して、不登校の子どもたちとコミュニケーションを図ることは、不登校対策として有効だと考えますが、見解を伺います。

## 令和2年第3回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
			2 小中学校のトイレ清掃について	清掃活動は、「働くことの意義の理解」や「心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成」を目的とした教育活動ですが、今回のコロナ禍の中、トイレ清掃は教職員が行うという措置がとられました。今後も、様々な感染症が心配される中、子どもたちの安全を考え、トイレは清掃活動の場所から除き、業者等に任せるべきであると考えますが、見解を伺います。
			3 防災教育としてのマイ・タイムラインづくりについて	マイ・タイムラインは、洪水発生時の「逃げ遅れゼロ」に効果があると言われていますが、認知度は低く定着していません。また、自然災害が頻発する中、防災教育の重要性は増大していますが、教科指導に比べ系統的、継続的に行われているとは言いがたい状況です。そこで、マイ・タイムラインづくりを学校の教育課程の中に位置づけ、児童・生徒に指導することは、市民の自助の力を高める上で、大きな効果があると考えますが、見解を伺います。
			4 古文書等の保存、活用について	地域の歴史を知る手掛かりとなる古文書や遺物が、家の建て替えや災害等により、失われているとの報道がありました。地域の歴史や先人の営みを知ることは、子どもたちの地域への愛着心を育てることにもつながります。本市における古文書や遺物の保存の現状と活用状況について伺います。

令和2年第3回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
		公共施設の活用について	1 旧周西幼稚園跡地の活用について	周西幼稚園が閉園して2年半になりますが、跡施設は何の活用もされず、放置されたままです。災害時の指定避難所になっておりますが、近年、使用された実績はありません。周西幼稚園は、地域の協力があって開園できた幼稚園です。近くにある地域福祉推進センター「ゆうゆう館」との統合など、今後の活用に関し、地域と話し合い、連携していくことが重要であると考えますが、見解を伺います。
			2 君津勤労者総合福祉センターの活用について	君津勤労者総合福祉センターは、屋根の防水機能が低下し、建物本体にも雨漏りの影響が出始めています。しかしながら、運営委員会は開催されず、今後の活用方針が定まっていません。早急に運営委員会を開催し、今後の見通しを明確にすべきと考えますが、見解を伺います。

## 令和2年第3回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
7	13番 下田 剣吾  予定日時 9月7日(月) 13:00~13:45	台風大雨から1年、復旧復興は進んだか	各種支援策は市民に届いたか	多くの市民が苦しんだ去年の台風大雨から1年、10月で期限となる被災者生活再建支援制度の支給状況を伺います。また、最大1千万円の千葉県中小企業復旧支援補助金を市内事業者がどれくらい利用できたのか伺います。また、いまだにブルーシートが残る屋根も見受けられますが、対象市民が多い住宅修繕の補助金や応急修理は市民に十分に届いたと認識しているのか伺います。
			1 国土強靱化地域計画を活用した中小河川の洪水対策について	ゲリラ豪雨等をはじめ、短い時間に一気に大量の雨が降る例が増えています。中小河川の合流部等での洪水や越水を防ぐ対策が必要です。過去の台風で被害があった県管理の宮下川の未整備区間や市管理の小糸地区の小河川の対策工事、また水位計、監視カメラの設置を策定中の国土強靱化地域計画を活用するなどして実施すべきと考えますが、見解を伺います。
			2 長期間の断水対策について	昨年の台風後の停電により、小糸、清和地区は水道の源となる白駒配水場と小糸大谷配水場が機能停止したことから、断水が発生しました。さらに、倒木による道や電線の寸断もひどかったため、電気を通し、施設を再稼働させ、再び配水できるようになるまで約2週間もの間、断水が続きました。住民にとって忘れがたい苦しさでした。具体的にこの1年で再発防止のため、どのような対策をしたのか伺います。
			3 高齢者や子どもの熱中症対策について	停電の中、復旧の下支えとなったのが保育園です。子どもを預けることができたため、市民は職場の復旧もできました。しかし、園では猛暑の中、うちわなどでしのぐ様子も見られました。災害時の酷暑は命に関わります。自家発電機や太陽光発電でも動く可動式のスポットクーラーがあれば、乳児室や避難所の高齢者、体調の悪い人のいる一室だけでも冷やすことができると提案しましたが、対応は図られたか伺います。

令和2年第3回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
			4 住民が助け合う「共助」を支援する具体的な取組について	<p>大規模災害時には市役所や職員の動きには限界があり、住民の助け合いが重要です。しかしながら、この「共助」を促す具体的な取組が足りないのではないのでしょうか。まず、避難所運営は限られた職員だけが動くのではなく、市民と協働で行うことを市として明確にすべきだと考えます。その上で平時から自治会長など地域のリーダーの皆様と避難所運営会議をつくり、その準備をしておくべきと考えますが、見解を伺います。また、市民がお互いに連絡を取りやすくする必要があります。伝統的に、多くの自治会や民生委員の活動は固定電話が主体です。このため去年は、電話が繋がらない、情報が届かない等の例がありました。こうした時に携帯電話やラインを活用することで、停電下や屋外や避難時も、連絡が取りやすくなり、情報共有や助け合いも進むと考えられます。はじめの一歩として、自治会活動における携帯電話の活用、防災のためのライングループの作成など具体的に取り組むように提案しましたが、その後の進捗よくについて伺います。</p>
			5 老朽化した保育園の耐震性について	<p>倒壊防止を目的に、古い保育園の安全性を高める緊急安全対策工事が進んでいます。過去の調査では、筋交いが無い、外れている等、様々な不具合と危険性が指摘されてきました。この度の設計と工事で命を守れる園舎となるのか、見解を伺います。</p>

## 令和2年第3回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
		教育について	1 貧困などの問題を抱える児童生徒の状況と支援について	新型コロナウイルスの感染拡大で市内小中学校が一斉休校になった際、「学校における見守りや給食などがなくなることで、困る可能性があり、注意を要する児童生徒がいる」との情報がありました。その児童生徒はどのようなことに困っているのか、また、できる限り市として重点的に支援すべきと考えますが、見解を伺います。
			2 学校での戦没者に関する教育について	本市の戦没者追悼式の参加者が遺族の高齢化により減少しています。しかしながら、その場で語られる市民の戦争体験は、平和を守っていく上で大切な教訓になると考えます。一方、学校教育では歴史としての戦争や他の地域の話はあるものの、本市でどのようなことがあったのか、学ぶ機会は限られていると考えます。もう少し、君津市民が戦争の時代をどう生きてきたのか、学ぶ機会を持つことは本市の児童生徒に必要なだと考えますが、見解を伺います。
		元幹部職員の活用について	再雇用の現状について	退職した元幹部職員が再雇用され、職員として働いていますが、その現状について伺います。
		消防政策について	消防団員とその家族の支援のために	国からの指摘を受け、本市では、消防団員報酬が個人振込に変わりました。しかし、各分団では活動費不足のため、その全額、または一部を分団が徴収している例があると聞いています。また、操法大会について、全国調査によると消防団員の公務災害のケガの6割が訓練によるもので、その主な内容が操法大会向けの訓練であるとされています。本市の実態を伺います。

令和2年第3回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
8	16番 須永 和 良  予定日時 9月7日(月) 14:00～14:45	君津インターチェンジ周辺の開発について	1 土地利用の検討結果について	現君津市総合計画の基本目標「地域の力で築く活力あふれるまち」の中において、目標実現のための基本施策として「君津インターチェンジ周辺等の高度利用を図り」とあります。また、都市計画マスタープランでは土地利用の基本方針として「都市的な土地利用の誘導を図るための手法を検討し」とあり、君津ゾーンの重点方針の中には「土地利用規制の見直しを検討」や「企業立地の受け皿の確保を検討」さらには「直販所の立地誘導や朝市などの開催スペースの確保」という言葉が並びます。そこで具体的にどのような検討をしているのか伺います。
			2 次期総合計画での位置付けについて	土地の利用規制を解除するための県の許認可や経済産業省の地域未来投資促進法の支援を受けるためには、君津インターチェンジ周辺開発の基本計画を策定することが必須です。まずは基本計画を策定しなければいかなる交渉のテーブルにも上がりません。市としてどのように考えているのか、地域未来投資促進法の概要も併せて伺います。
		市役所組織の改編について	1 新型コロナウイルス対応専門の係等の設置について	新型コロナウイルス感染症の拡大が今後も続く可能性が高く、本市においても今後増えていくことを想定した場合、新型コロナウイルス感染症の対応に特化した係等の設置が必要になるのではないかと考えますが、見解を伺います。
			2 幅広いスポーツの振興について	学校体育だけがスポーツではありません。教育部内の体育振興課でスポーツ全般を扱うのは時代遅れだと思います。スポーツを担当する課を市長部局に作るべきだと思いますが、見解を伺います。

## 令和2年第3回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
			3 職員数ヒアリング調書への対応について	職員のミスや不祥事は罰則だけで改善できるものではないと思います。ミスが起こるだけの原因があり、その原因を根本的に改善しないと再発防止になりません。そこで、毎年5月に行っている職員数ヒアリング調書において各課等から増員などの要望があると思いますが、その対応について伺います。
		災害対策について	1 田んぼダムの推進について	水田は1反あたり20万リットルの水をためる能力があります。新潟県見附市では、この水田の治水機能を使い、洪水被害を抑える取組を地域を挙げて行っています。本市においても台風接近の際には水田の落とし口を上げてもらい治水する取組を呼びかけたかどうかと思いますが、見解を伺います。
			2 木造住宅耐震化促進事業について	本年度から耐震診断を無料化しましたが、進ちよくを伺います。また、なぜ耐震診断が無料なのか、耐震診断だけをして耐震改修工事をしなければ本来の目的は達成できません。例えば、耐震診断時に8割を補助し、実際に耐震改修工事をしたら残りの2割も補助するような制度設計のほうが耐震化は進むと思いますが、見解を伺います。
		市内産業廃棄物最終処分場について	第3期増設工事について	現在行われている第3期増設工事の進ちよくについて伺います。また、第3期増設に関して、今まで県が行ってきた事務手続きで前例がないと思われることはどんなものがあるのか伺います。また、第3期事業地の周辺地を保全のために市で購入したらどうかと提案しますが、見解を伺います。



令和2年第3回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
9	12番 橋本礼子  予定日時 9月8日(火) 10:00~10:45	安心して暮らせる まちづくりにつ いて□	1 災害発生時の避難所運営について	<p>1 今後の台風シーズンに備え、先進地では新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた避難所運営訓練などを行っているようですが、本市での取組を伺います。</p> <p>2 令和元年の台風などによる災害発生時には避難所を開設し、多くの方が避難をしていましたが、一般避難所と福祉避難所の対象者はどのように定義されていたのか伺います。</p>
			2 本市が協定締結している福祉避難所について	<p>1 本市が協定締結している福祉避難所はどのようなタイミングで開設されるのか、また、避難所開設や運営に要する物資等はどのように調達するのか伺います。</p> <p>2 福祉避難所で要配慮者へ提供する非常食には、現在アレルギー不使用のものをはじめ、やわらか食、ムース食など多くの種類のものがありますが、本市の備蓄状況について伺います。</p> <p>3 福祉避難所での避難生活が長期にわたる場合の入浴は、避難者から大変喜ばれるのではないかと考えますが、要配慮者の入浴についてどのように想定しているのか伺います。</p>
			3 トイレトレーラーや電気自動車の活用について	<p>1 令和2年度から取り組むトイレトレーラーと電気自動車の使用目的と効果について、どのように考えているのか伺います。</p> <p>2 トイレトレーラーはクラウドファンディングを使ってどのように資金を集め、返礼品には何を考えているのでしょうか。トイレトレーラーの移動に必要な運転手の資格と人員の確保はできているのでしょうか。また、トイレトレーラーを保有している市町村とどのように関わっていくのか伺います。</p>

## 令和2年第3回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
			4 市民の移動支援について	市街地以外にお住まいの65歳以上の高齢者や妊産婦、小さなお子さんがいる方など恒常的あるいは一時的に運転が困難な方は、日用品や日々の食料品など生活必需品の買い物をはじめ、行政センターや病院などへ行くことに大変苦勞していると思われます。また、運転免許証を返納した高齢者の方も生活圏の縮小により、生活に不便をきたすと思われます。そこで、毎日ではなくとも、月に2回程度、福祉外出応援バスを市内に循環させて外出の機会を提供してみてもとありますが、見解を伺います。
			5 防犯ボックスの取組について	防犯活動の拠点となる君津市防犯ボックスは、設置されて3年目に入りました。県からの補助金は5年とされていますので、事業は残り2年余りとなっています。今までの成果と今後の方針について伺います。

令和2年第3回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
10	11番 船田兼司  予定日時 9月8日(火) 11:00~11:45	農業振興について	1 今後の農業政策の推進について	<p>昨年の台風15号から1年、この間、市では農業施設の復旧に努め、多くの農業者が再建しつつありますが、一方で、離農する方も増えているのが現状です。特に中山間地域では、その傾向が強くなってきています。現在、農業はこれまでの高齢化、担い手不足に加え、災害からの復興など、新たな局面を迎えていると思っておりますが、少なくとも今後10年間の農業振興について、どのような方針を持ち、推進していくのか伺います。</p>
			2 農業振興地域整備計画の全体見直しについて	<p>令和2年第1回定例会において、令和4年度を目途に農業振興地域整備計画の全体見直しを行うと表明されました。残すところ2年半ですが、予算の裏付けがありません。今回の全体見直しはどのような方針のもとに行うのか伺います。また、予算がない中、事前準備として県や関係機関との協議を進めていると思っておりますが、見直しの進捗状況と策定までのスケジュールについて伺います。</p>
			3 農業振興計画の策定について	<p>市では総合計画の策定準備に入っていますが、農業分野については現状を分析した振興計画がありません。これまでにない諸課題に対し、新たな局面を迎えている中で、農業振興の柱となる方向性を示した計画を農業振興地域整備計画の全体見直しと併せて策定することを提案しますが、見解を伺います。</p>

## 令和2年第3回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
		教育行政について	1 学校再編について	本市の学校再編は、統合や学区の再編、小中一貫教育などの特色づくりを進めることにより、市内全ての学校が活力ある魅力的な学校になることを目指すものでありますが、学校再編の進捗よく状況とスケジュールについて伺います。
			2 教育環境整備について	未来を担う子どもたちのための環境整備は大変重要なことと考えますが、今年の台風15号をはじめとする大雨などの災害からの復旧状況について伺います。また、新型コロナウイルス感染症対策やトイレの改修、屋内運動場等の整備について伺います。
		防災対策について	1 災害協定について	本庁舎再整備についてはスケジュール等を再検討する方針が示され、事実上の先送りとなりました。大規模災害時に本庁舎が使用できなくなった場合に備えて、近隣市の庁舎や民間の施設を臨時に使用できるように災害協定を強化すべきと考えますが、見解を伺います。併せて行政データのバックアップ体制について伺います。
			2 防災拠点の整備について	大規模災害時の被災範囲は市域に関係なく起こります。そうした中で近隣市との広域連携・処理が進んだことにより、水道事業や廃棄物処理事業、病院、火葬場の運営などで、市が単独で指揮、命令することができず、関係市で調整が必要となることが想定されます。近隣市の中心に位置し、高速道路網も整っている君津インターチェンジ付近に防災拠点を集約し、広域での防災施設を建設することを提案しますが、見解を伺います。